



豊臣秀長

ドラマは 奈良 にある



豊臣秀吉

豊臣秀長公と郡山城下町



▼マンガ【きみとなら】第7話



宝誉上人の夢のお告げにより、秀長は御堂（洞泉寺）をつくり、宝誉上人はそこに茶枳尼天（だきにてん）を祀りました。マンガ：チャンキー松本

秀長とまちづくり 商工業が発展

郡山城は筒井順慶が築城を始め、1585年に豊臣秀長が入城し、紀伊・和泉・大和の太守として、城郭と城下町を整備しました。

秀長は城下町繁栄のため、奈良や堺などから商人や職人たちを郡山へ呼び寄せました。史料「郡山惣町分日記」（春岳院文書）では、城下には本町・魚塩町・堺町・柳町・今井町・綿町・蘭町・奈良町・雑穀町・茶町・材木町・紺屋町・豆腐町・鍛冶屋町の14町が見られます。このうち鍛冶屋町は本町の枝町とされるため、残る13町が城下町の基盤となり、後に「箱本十三町」と呼ばれる枠組みが成立したと考えられています。この体制は営業上の独占権を認め、町々に特許状（朱印状）を与えて商工業を保護する箱本制度へと繋がりました。特権の根拠となる文書を朱印箱に納めて封印し、13町が1か月交代で保管して、地子免除（免税）とする代わりに治安や消火、伝馬などの自治活動も行ったと伝わっています。



箱本館「紺屋」



春岳院に伝わる秀長の肖像画と御朱印箱

江戸時代から続いた藍染め商の町家を再生した箱本館「紺屋」には当時の書状が残るほか、秀長の菩提寺とされる春岳院には、秀長の200回忌に合わせて狩野派の画家が描いたと伝わる肖像画や御朱印箱が残されています。

また、秀長と親交があった高僧・宝誉ゆかりの源九郎稻荷神社では「秀長さん」御朱印を受け取れます。郡山城を守護する郡山八幡神社は、国内でも珍しい野球の上達を祈願する神社として有名。歴史ある町並みを残す城下町には古民家を活用したカフェや店舗も近年増えています。歴史と現代の暮らしが調和する町を一度訪れてみてはいかがでしょうか。 関県地域観光課 ☎0742-27-8482

藍染め体験

すくもを使った天然灰汁発酵建てと呼ぶ昔からの方法で仕込んだ染料を使っています。

箱本館「紺屋」



- 料金：夾纈・纈纈体験ハンカチ 1,100円～
- 場所：箱本館「紺屋」（大和郡山市紺屋町19-1）
- ☎0743-58-5531

お酒造り体験

郡山城下町の真ん中で、日帰りでお酒造りが体験できます。醸造所ではできたの日本酒も楽しめます。



柳町醸造所



- 料金：半日コース 9,000円（税込）
- 場所：中谷酒造柳町醸造所（大和郡山市柳2-4）
- ☎0743-85-7281

秀長・秀吉 愛知 滋賀 奈良 夢の軌跡スタンプラリー

- 期間：12月20日（日）まで
- 参加費：無料
- 主催：愛知・滋賀・奈良「豊臣家ゆかりの地」連携事業推進協議会



いずれも体験には予約が必要です。詳細は各所のホームページなどをご確認ください。※歴史の解釈には諸説あります。